

# TOTO

## マイクロ波センサー小便器セット

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。  
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

### 安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。

この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。  
その表示と意味は次のようになっています。

- 警告** この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
- 注意** この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

- 禁止は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「風呂、シャワー室での使用禁止」を示します。
- 必ず実行は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

**警告**

浴室などの湿気が多い場所に設置しない  
故障、漏電の原因になります。

水場使用禁止

**注意**

便器に強い力や衝撃を与えない  
便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず2人以上で施工を行う  
腰を痛めたり、陶器を落として破損する可能性があります。

施工後、必ず試運転し、各部に水漏れのないことを確認する  
取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

必ず実行 設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する  
正常な取り付けができなくなる可能性があります。

設置工事は、この説明書に従って確実にを行う  
故障や水漏れの原因になります。

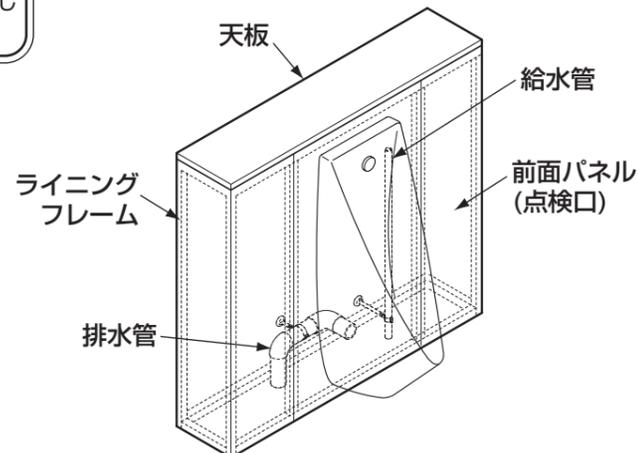
### 設計上のご注意

- 警告** 屋外および傾斜のあるような壁面、振動の激しい場所には取り付けない  
取り付けが不安定になり、落下してけがやときに死亡のおそれがあります。
- 必ず実行** 取り付け前には所定の下地を設ける  
固定強度不足で施工すると、けがや壁の破損が生じるおそれがあります。

**注意**

壁への固定が完了するまで、十分注意する  
また、各部の固定がゆるんでいないことを確認する  
倒れやすく、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

必ず実行



【現場で手配いただくもの】

- 配管 (給水管、排水管)
- 配管支持材
- ライニングフレーム
- 天板
- 前面パネル

### 取り付け前のご注意

**警告**

浴室などの湿気が多い場所に設置しない  
故障、漏電の原因になります。

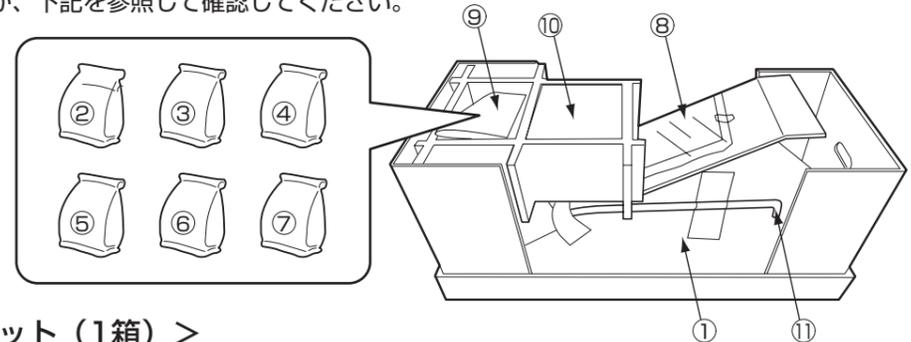
水場使用禁止

**必ず実行** 万一の際の危険防止のため、必ず過電流遮断器、漏電遮断器を設置する  
使用電線：600Vビニール絶縁電線またはケーブル (φ1.6、φ2.0mmの単線もしくは2.0mmのより線)  
感電、漏電の原因になります。

- 水道工事と電気工事は十分に工程を打ち合わせのうえ、行ってください。
- 電源線は現場でご用意ください。
- アース線は不要ですので、2芯の電源線をご使用ください。
- 給水圧力は最低必要水圧0.07MPa (11L/分 流動時)、最高水圧0.75MPa (静止時) です。この圧力範囲でご使用ください。
- 電気器具ですから、水をかけないよう注意してください。
- 梱包前に通水検査をしていますので商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。
- 施工や運搬・清掃時に触れる可能性のある金属類は、陶器と接触しないようご注意ください。金属類が陶器と接触し、スジ状の跡がついた場合は、トイレ用中性洗剤 (研磨剤なし) で軽くこすって除去してください。

### 同梱部品

■部品があるか、下記を参照して確認してください。



#### <小便器セット (1箱)>

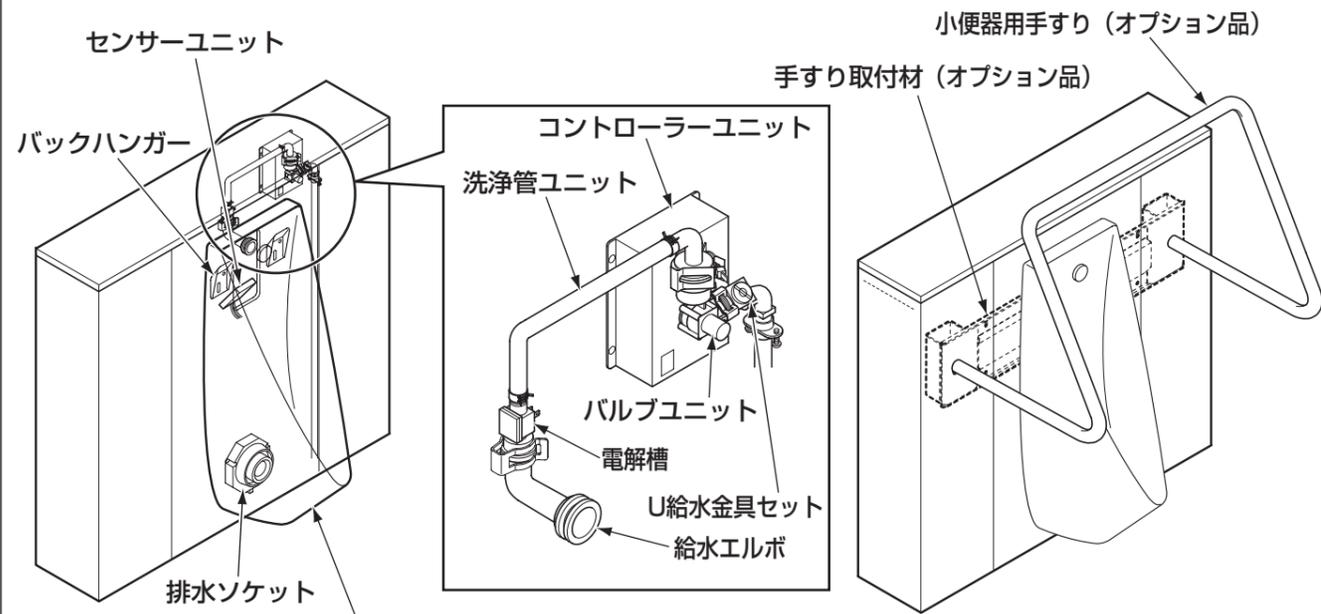
① 小便器	② バルブユニット (Oリング付き)	③ センサーユニット	③ コントローラーユニット	④ バックハンガー			④ ビス保護キャップ
				ハンガー	木ねじ	ワッシャー	
				2個	6本	2個	6個
⑤ 給水エルボ	⑥ 目皿	⑦ 電解槽ユニット	⑧ 取扱説明書他		⑨ 施工説明書	⑩ 排水ソケット	⑪ 洗浄管ホース
エルボ (Oリング付き)	クイックファスナー	電解槽	クランプ	取扱説明書	注意ラベル	掃除用磁石	
	大1個 小1個						
			2個				
					本紙		

#### <その他>

#### 【オプション品】

U給水金具セット (1箱)	小便器用手すり (1箱)	小便器手すり用固定金具 (1箱)

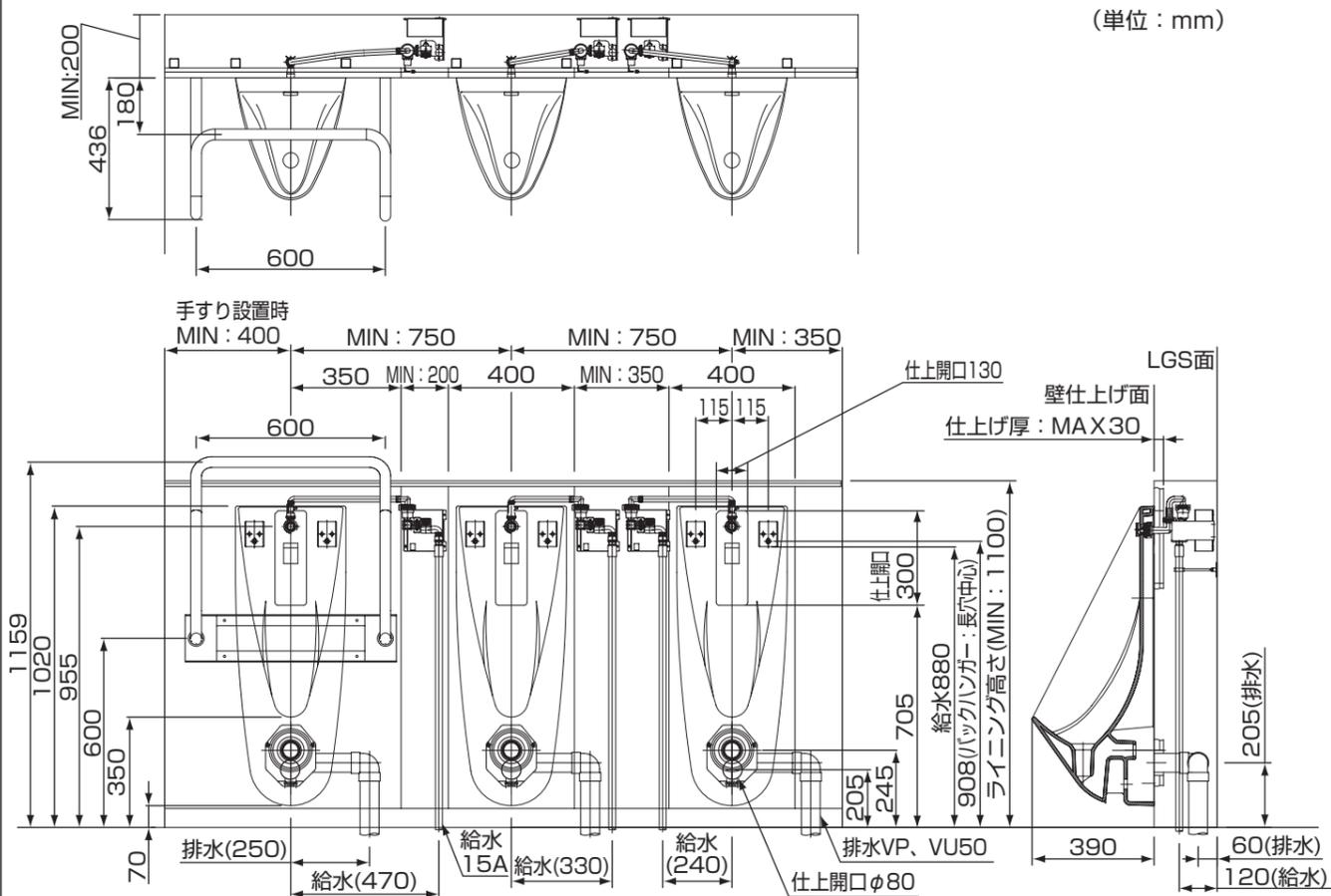
# 各部のなまえ



※ライニング（下地、仕上げ材共）および配管は現場で手配してください。  
それ以外、小便器を固定、接続、作動させるための部材一式がセットに含まれます。

# 完成図（設置例）

●標準設置寸法は、次のようになります。  
完成イメージを把握していただき、施工時に必要な細部の寸法は、下図を元に正しく取り付けてください。



# 施工手順

使用部材

- |                                  |                        |
|----------------------------------|------------------------|
| 商品概要確認                           |                        |
| 工事区分確認                           |                        |
| <b>1</b> 墨出し／配管支持材取り付け           | 【現場手配】                 |
| <b>2</b> 排水通気管／給水管固定             |                        |
| <b>3</b> 給水金具取り付け                | U給水金具セット               |
| <b>4</b> ライニングフレーム取り付け           | 【現場手配】                 |
| <b>5</b> バックハンガー・排水ソケット下地材取り付け   |                        |
| <b>6</b> バルブユニット・コントローラーユニット取り付け | バルブユニット<br>コントローラーユニット |
| <b>7</b> 幅木／仕上げパネル取り付け           | 【現場手配】                 |
| <b>8</b> 排水ソケット取り付け              | 排水ソケット                 |
| <b>9</b> バックハンガー取り付け             | バックハンガー<br>ビス保護キャップ    |
| <b>10</b> 給水エルボ・センサー取り付け         | センサーユニット<br>給水エルボユニット  |
| <b>11</b> 小便器取り付け                | 小便器本体<br>目皿            |
| <b>12</b> 洗浄管ホース接続               | 洗浄管ホース<br>電解槽ユニット      |
| <b>13</b> コントローラーコネクター接続         |                        |
| <b>14</b> 天板取り付け                 |                        |
| 試運転・点検                           |                        |

●推奨工事区分

白抜き文字 設備工事    黒文字 建築工事

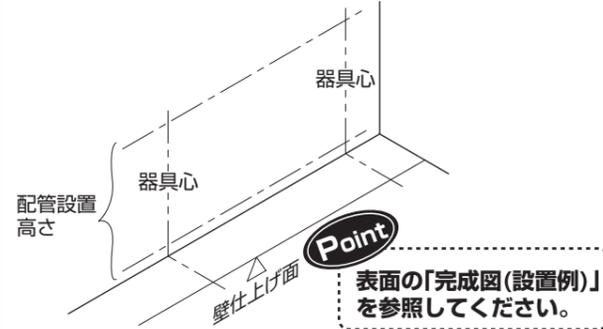
# 取付方法

**Point** 施工前に打ち合わせを実施し、工事区分の確認を行ってください。●推奨工事区分 **白抜き文字** 設備工事 **黒文字** 建築工事

## 1 墨出し / 配管支持材取り付け

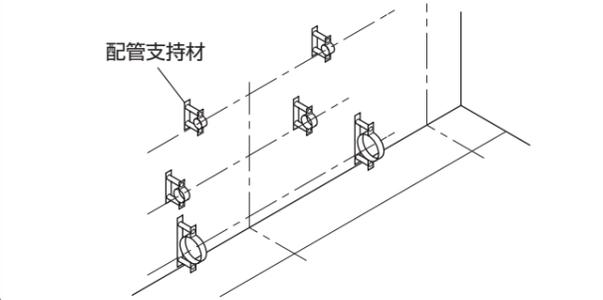
### 給排水管位置の墨出し

- ライニングの壁仕上げ面を基準に、位置決めをする。



### 配管支持材の取り付け【現場手配】

- 取り付ける下地面に適した配管支持材を選定し、ガタツキがないよう、確実に取り付け。

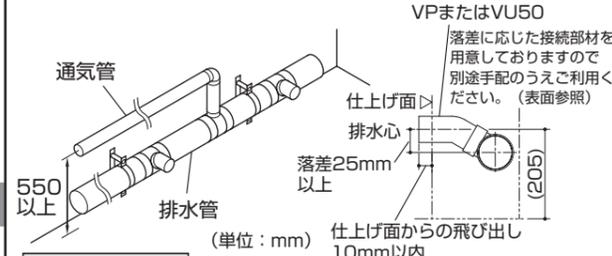


## 2 排水通気管 / 給水管固定

- Point** 給水取り出し口の根元は、ガタつかないように必ず支持金具で固定する

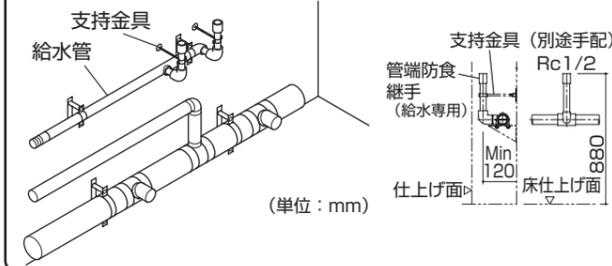
### 排水通気管の固定

- 通気管高さはFL+550mm以上のレベルに設置する。
- 横引き排水管の勾配は、1/50以上確保する。



### 給水管の固定

- 各器具への給水取り出し口は、小便器間の点検口裏にくるように位置決めする。(詳細は表面「完成図(設置例)」を参照ください)

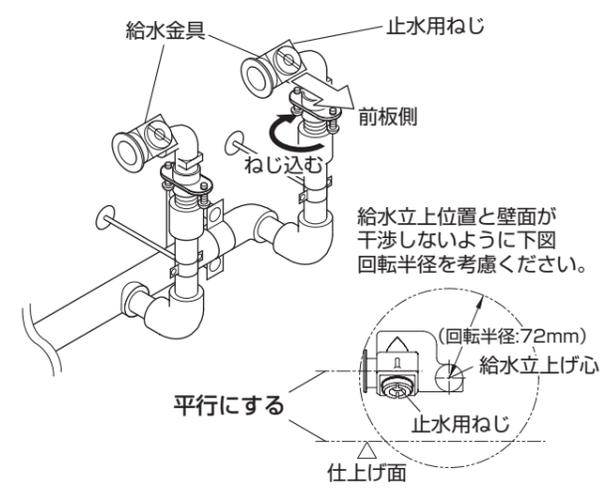


## 3 給水金具取り付け

- Point** 必ずシーリングを施す 水漏れの原因になります。

- Point** 給水金具は、この時点での取り付けを推奨します。ライニングフレーム設置後では、作業性が悪くなります。

- 止水用ねじを前板側に向けて、本体が仕上げ面と平行になるように取り付ける。

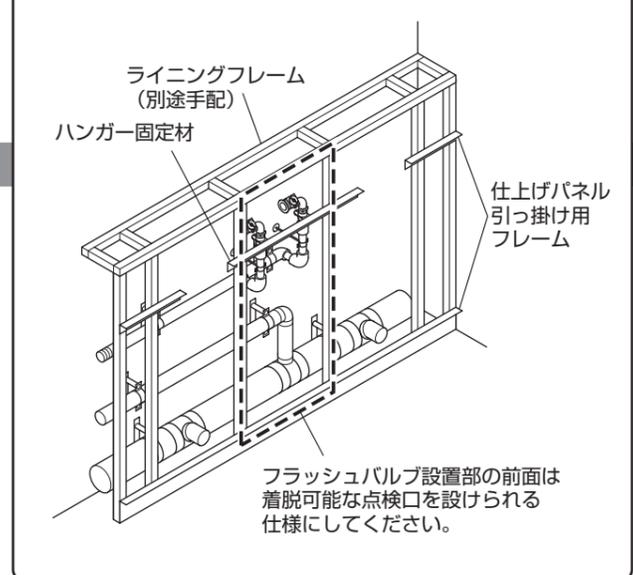


## 4 ライニングフレーム取り付け

- Point** ライニングフレームは、フラッシュバルブの前面に点検口が設けられる設計にする

### 【現場手配】

- ライニングの壁仕上げ面を基準に位置決めする。

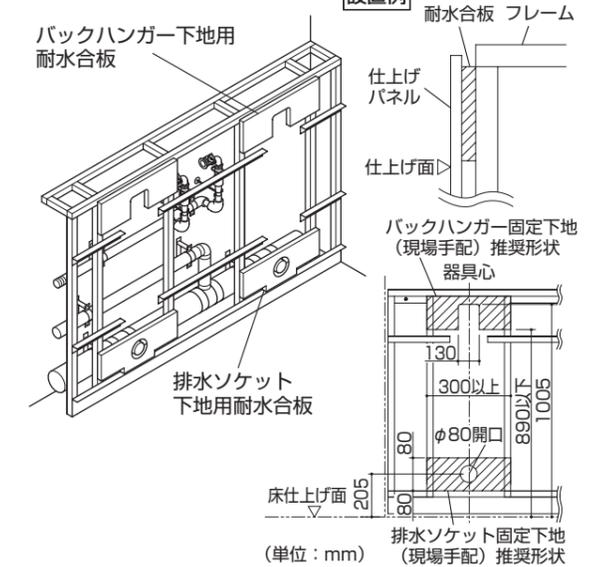


## 5 バックハンガー・排水ソケット下地材取り付け

- Point** 耐水合板は必ず12mm以上のものを使用する
- Point** 耐水合板と仕上げパネルの合計の仕上げ厚が30mm以下になるよう設計を行う

### 【現場手配】

- バックハンガーと排水ソケットの固定箇所を下地用の耐水合板を取り付ける。

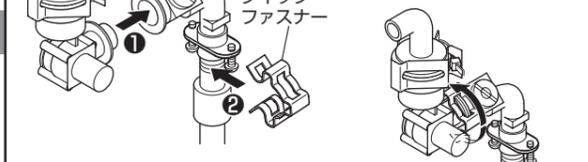


## 6 ハルブユニット・コントローラーユニット取り付け

- Point** オリングに、よれや変形などキズつきがないよう注意する
- Point** オリング部に水やせっけん水を塗るとスムーズに入ります。

### バルブユニット取り付け

- ①給水金具にバルブユニット本体を差し込む。
- ②奥まで差し込み、クイックファスナーで固定する。



### コントローラーユニット取り付け

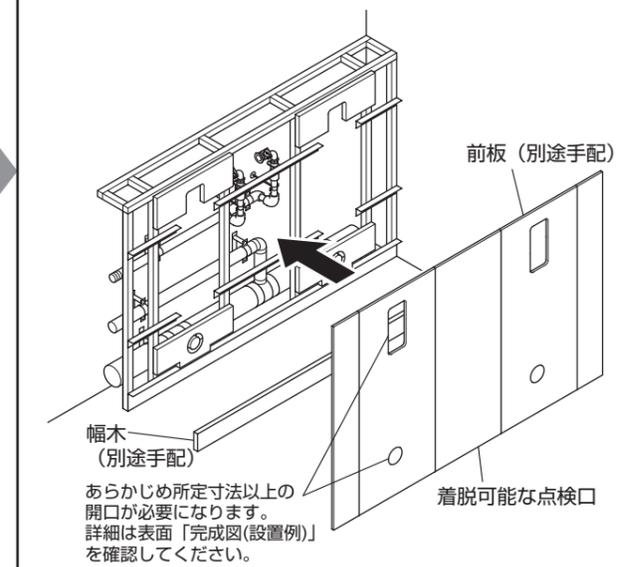
- 給水金具アダプター部の小ねじをゆるめ、コントローラー固定材のU字溝を差し込み、再び締め付ける。



## 7 幅木 / 仕上げパネル取り付け

### 幅木取り付け/仕上げパネル取り付け【現場手配】

- 幅木の形状・仕様については、建築工事責任者と入念な打ち合わせを行う
- 前板の形状・仕様については、建築工事責任者と入念な打ち合わせのうえ、メンテナンスが容易に行えるよう設計する

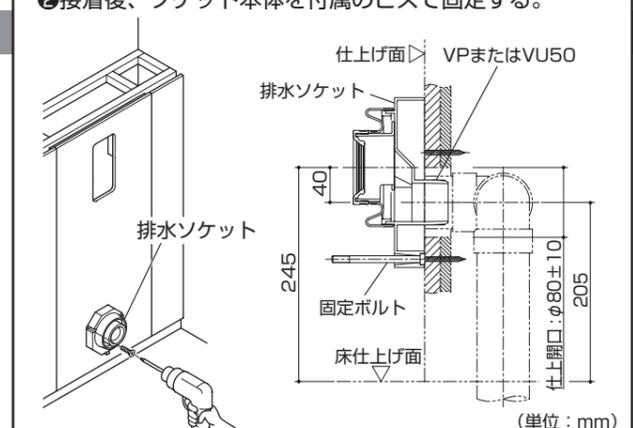


## 8 排水ソケット取り付け

- Point** 排水ソケットのゴム部をドライバーなどでキズつけない
- Point** 排水ソケット本体と排水管のはめあいがゆるい場合は、必ず高粘度タイプの接着剤を使用する

- 排水ソケット標準取り付け高さは、排水心で床仕上げ面+245mmです。

- ①排水ソケット外周と排水管内面に塩ビ用接着剤を塗布して挿入する。
- ②接着後、ソケット本体を付属のビスで固定する。





・施工前に打ち合わせを実施し、工事区分の確認を行ってください。

●推奨工事区分

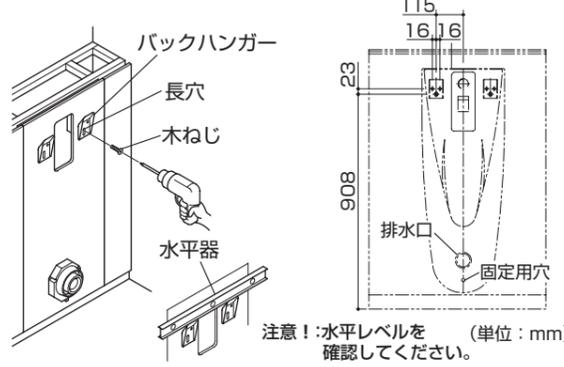
白抜き文字 設備工事

黒文字 建築工事

## 9 バックハンガー取り付け

**必ず実行** ハンガー固定ねじは必ず指定のものを使用し、裏の耐水合板を貫通したねじの先端には付属のキャップを取り付ける。便器の脱落や水漏れの原因になります。メンテ時、けがの原因になります。

- バックハンガーを仕上げ材表面から下図の所定位置に木ねじで固定する。
- 3カ所のねじ穴のうち下側の長穴で固定し、小便器を引っ掛けて排水ソケットの固定ボルトが小便器の固定用穴と合っているか確認する。
- 固定ボルトと固定用穴の位置が合っていない場合、いったん小便器を外して木ねじをゆるめ、バックハンガーの位置を調整する。
- 左右の水平レベルを確認して、取付位置が決まったら、上側2カ所のねじ穴を固定する。



## 10 給水エルボ・センサー取り付け

**必ず実行** オリングに、よれや変形などキズつきがないよう注意する

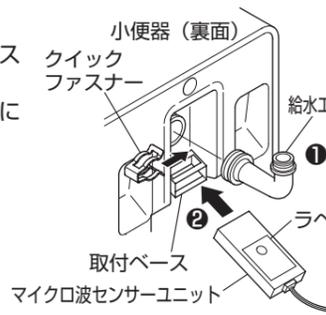
**Point** オリング部に水やせっけん水を塗るとスムーズに入ります。

**必ず実行** センサーユニットはラベル貼付面を上にして挿入する。逆に入れるとベースが破損する原因になります。

- 給水エルボを小便器裏の上部に差し込み、クイックファスナーで固定する。

注意！：クイックファスナーが正確に挿入されているか確認するために、クイックファスナーの溝に沿って軽く回転させてください。スムーズに動かない場合は、再度外して挿入し直してください。

- マイクロ波センサーユニットを取付ベースに差し込む。突き当たるまで確実に差し込む。

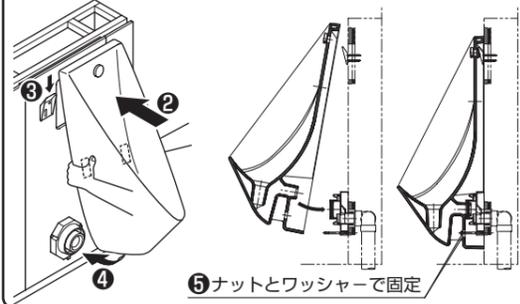


## 11 小便器取り付け

**禁止** 便器を持ち上げるときは、手袋をしない手が滑って、けがや便器破損の原因になります。便器と前面パネルの間に手を挟まないけがの原因になります。センサーと給水エルボを仕上材の開口部にぶつけない破損の原因になります。

**Point** 小便器背面中央部両端の手掛りを持って持ち上げてください。

- 小便器排水口面・排水ソケットのゴムジョイントのごみを取り除く。
- 小便器を前板上部近くまで持ち上げる。
- 前板に添ってゆっくり下におろし、バックハンガーに小便器が掛かったことを確認する。
- 小便器下部を前方に押し込む。
- 小便器排水ソケット部を固定する。



## 12 洗浄管ホース接続

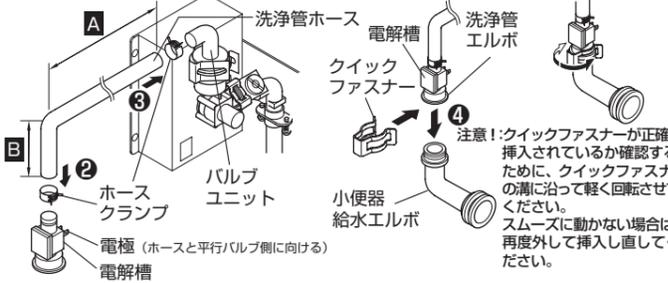
**必ず実行** オリングに、よれや変形などキズつきがないよう注意する

**Point** オリング部に水やせっけん水を塗るとスムーズに入ります。

**必ず実行** ホースは根元まで挿入し、ホースクランプで必ず固定する。水漏れの原因になります。

- バルブユニットと小便器に取り付けられた給水エルボ間の距離A、Bを測り、洗浄管ホースをカットする。

- 洗浄管ホースの短手側を電解槽に差し込み、ホースクランプで固定する。
- 洗浄管ホースの長手側をバルブユニットに差し込み、ホースクランプで固定する。
- 電解槽を小便器給水エルボに差し込み、クイックファスナーで接続する。

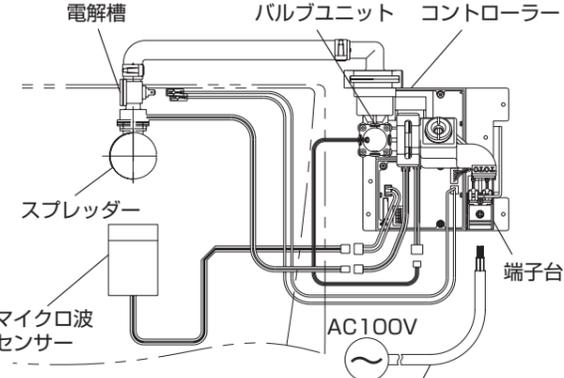


## 13 コントローラーコネクター接続

**必ず実行** 電源配線は1m以上の余裕をみて配線する

**必ず実行** コネクター接続など、配線は確実に行う。接触不良の原因になります。

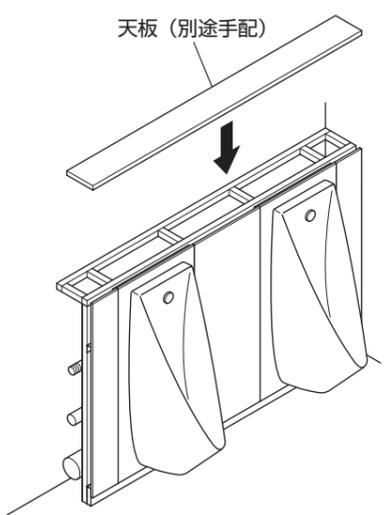
- 下図を参照のうえ、配線の接続をする。(4カ所)
- ・スプレッター - コントローラー間 (コネクター接続)
- ・センサーユニット - コントローラー間 (コネクター接続)
- ・電解槽 - コントローラー間 (ファストン端子接続)
- ・バルブユニット - コントローラー間 (コネクター接続)



**電気工事** VVF2×1.6mm (JIS C 3342) 先端の被膜を10~15mm程度むいて差し込んでください。

## 14 天板取り付け

- ライニングフレーム上部に天板を載せ、壁とのすき間調整を行って固定する。



以上で取り付けは完了です。次の「試運転・点検」を必ず実施してください。

## 試運転・点検

**必ず実行** 施工完了後、次のことを必ず行う

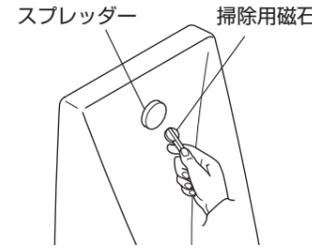
- 試運転は、下記通水確認要領に準じて行ってください。
- 通水試験後は、施工時に発生した配管内のくずや異物が止水栓部のフィルターに詰まり、水の出が悪くなる場合があります。通水試験後は、必ず止水栓のフィルター掃除を行ってください。
- 各器具のぐらつきや接合部の水漏れがないか点検してください。

### 通水確認要領

- 電源を投入する。
- 5~10秒後に吐水することを確認する。
- 電源投入より10分以内の間は陶器内吐水口 (スプレッター) に掃除用磁石を接近させる。『機能水点検モード』に移行することができます。
- それ以降③同様の掃除用磁石を近付ける動作によって水が流れるので何回か吐水させ、接合箇所の漏れがないか確認を行う。

### 製品作動状態

- |                       |      |
|-----------------------|------|
| ① 電源投入                | ● 点灯 |
| ② イニシャル洗浄 (吐水1回)      | ○ 消灯 |
| ③ 点検モード (吐水2回)        | ● 点滅 |
| ④ 点検モード (磁石接近ごとに吐水1回) | ● 点滅 |



### 洗浄動作確認方法

- 本小便器ユニットでは、マイクロ波センサーによって人体の動きに加え、尿流も検知して便器洗浄を行う。商品設置後は必ず次の動作を行い、便器洗浄することを確認する。

- 小便器に近づく
- 疑似小便をする
- 小便器から離れる
- 便器洗浄することを確認する

(ペットボトルのふたか底面にφ5程度の穴をあけて小便器に水を吐水する)

注意！：前洗浄のタイミングが遅い場合、取扱説明書P.10「前洗浄の洗浄タイミングについて」をご参照ください。

### フィルター着脱要領

